

2025年11月7日

各 位

上場会社名株式会社サンリツ代表者代表取締役社長 柴本 守人(コード番号 9366 東証スタンダード)問合せ先責任者 執行役員経営企画本部長 熊倉 真由美(TEL 03-3471-0011)

第2四半期(中間期)連結業績予想と実績の差異に関するお知らせ

当社は、2025年5月14日に公表いたしました2026年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と、本日公表の実績に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績の差異

2026年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績の差異(2025年4月1日~2025年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 中間純利益 | 1株当たり 中間純利益 |
|-----------------------------------|--------------|------------|------------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 9,800 | 百万円 310 | 百万円 180 | 百万円 120 | 円 銭 21.48 |
| 今回発表実績(B) | 9, 953 | 408 | 356 | 230 | 41. 05 |
| 増減額(B-A) | 153 | 98 | 176 | 110 | |
| 増減率(%) | 1.6 | 31.8 | 98. 3 | 92. 1 | |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (2025年3月期第2四半期) | 9, 595 | 440 | 314 | 199 | 35. 68 |

2. 差異が生じた理由

2026年3月期第2四半期(中間期)連結業績につきましては、売上高は概ね当初の予想通りとなりましたが、営業利益は日本国内での工作機械の取扱いが好調に推移したことに加え、販売費及び一般管理費において、一部費用が下期に後ろ倒しになったことにより当初の予想を上回りました。

経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、営業利益の増加に加え、 資金調達に係る費用等が下期に後ろ倒しになったことにより当初の予想を上回りました。 なお、米国新政権の各種政策による事業環境の変化など依然として外部環境が不透明な状況であるため、通期の業績予想につきましては当初の予想から変更はございません。

※当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づき記述したものでありますが、この記述は、将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により異なる可能性があることをご留意ください。

以上